

# Desert Wind (No. 9)

Las Vegas Japanese Community Church

AUGUST 2007

『わたしは荒野に道を設け、さばくに川を流れさせる』(イザヤ 43:19)

編集: 平山未樹

『この宝が私の中に』

LJVCC 牧師 鶴田健次

患難や失敗にどう対処するかで人の人生は大きく変わります。患難や失敗を通して勝利の人生を生きる人もいれば、敗北と怒りに満ちた人生を生きる人もいます。

以前、私が伝道したことのある日本人の男性は、仕事に失敗し、自暴自棄になり、アルコール依存症になってしまいました。やがて、それが原因で奥さんと子供が家を出てしまい、彼は、ますます自暴自棄に陥り、朝から酒を飲むようになりました。私は彼に、まずアルコールをやめて、もう一度ゼロからやり直そうと言いました。すると彼は、「自分は家族にも捨てられた人間だ。もうやり直しなど出来ない。もう終わりだ。」と言いました。

皆さんは人生の失敗をどう受け止められますか？失敗は人生をダメにするだけでしょうか？それとも失敗には何か素晴らしい意味と目的がないのでしょうか？使徒パウロは、『私たちは、四方から患難を受けても窮しない。途方にくれても行き詰らない。迫害に会っても見捨てられない。倒されても滅びない。』と言いました。事実、パウロは、試練や患難や失敗というものを誰よりも多く経験した人の一人です。しかし彼は、それらすべての患難と失敗を

見事に勝利に変えることができました。パウロはその秘訣を、「わたしたちは、この宝を土の器の中に持っている」からだと言いました。

『土の器』は落としたり割れてしまう弱いものです。そういう意味で、人間もまた傷つきやすく、壊れやすい弱さがあります。しかし、そんな弱い人間であっても、私たちクリスチャンはこの『土の器』の中に『宝』を持っている存在です。この宝とはイエス・キリストです。つまり、私たちがこの土の器の中にキリストの命を持っていると、その測り知れない力のゆえに、『患難を受けても窮しない。途方にくれても行き詰らない。迫害に会っても見捨てられない。倒されても滅びない。』、それがパウロの経験に基づく告白です。

では、なぜ神様はこんなに尊い『宝』を『土の器』の中に入れておられるのでしょうか。パウロは、その理由を、この『宝』が持つ測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかにされるためであると言っています。つまり、壊れやすい『土の器』に過ぎない私たちが、患難を受けても窮しない生き方、また途方にくれても行き詰らない生き方をすることによって、私たちの内に生きて働くキリストが証しされる。そのことのために、神はこの『宝』を『土の器』の中に入れておられるのだということです。

ジョニー・エレクソンは、17歳のとき、水泳の飛び込みで失敗し、頸髄を損傷してしまいます。そのために体が麻痺してしまいますが、彼女は信仰によって力を与えられ、大変なリハビリと取り組みながら、車椅子の生活ができるまでになります。やがて彼女は、この肉体的障害がきっかけとなって、自分と同じような境遇にいる人々のために生きるようになります。そして、障害者ばかりか、世界中のあらゆる人々に困難に立ち向かう勇氣と励ましを与える人になりました。その長年に渡る経験を通して、彼女はこんな事を言っています。『私たちは、人生の苦しみを、幸せの妨げとして見るべきではありません。むしろ人生の苦しきは、私たちに、本当の幸せと満足と神から来る喜びを得させるための鍵なのです。』

このように、『土の器』の中にキリストという『宝』を持っている人は、人が患難や失敗と呼ぶものを、大切な教訓を学ぶ新しい機会と呼びます。つまり、私たちは、この『宝』を自分の中に持っているのだから、人生における患難や失敗を、新しい道が開かれるための機会として、また古い自分の殻を突き破るためのきっかけとして用いることが出来るのだということです。それによって、『土の器』の中に『宝』を持っていることが証しされるのです。

証し

香織 バンクス

私は絶対にクリスチャンにはならない、と思っていました。というのは、キリスト教に限らず、宗教に頼る人は、心の弱い人、と思っていたからです。そんな私が、何がきっかけで、イエス・キリストを信じるようになったのか。それは、様々な人との出会いと、鶴田牧師の教えて下さった初心者クラスでした。

今から2年10ヶ月ほど前に、3年ぶりにケイ姉と再会しました。昔の彼女は楽しくて、とても魅力的な方でしたが、3年ぶりにあったケイ姉は洗練された、優しく穏やかな方になりました。(何がけい姉を変えさせたのだろう?)と私の中に疑問が浮かびました。そこに「私クリスチャンになったの、今度教会に遊びに来て」と嬉しそうに、また幸せに満ち溢れている彼女を見て、(きっとここに、何かあるのかな)と感じたのでした。そして、ケイ姉が証をされるというので、初めて教会に行きました。そこで出会った方々は明るく、やさしく、温かく私を迎えて下さいました。それがとても嬉しく、また先生のお話や、賛美がじんとう心に響きました。

約1年半前、私の双子の直美が洗礼を受けました。それからの直美はどんな状況、困難が来ようとも御言葉に耳を傾け、お祈りをして解決をし、前向きに行動していこうとする姿、主に信頼した強さがありました。母のおなかの中から大学卒業までほとんど同じ環境で育った私達ですが、そこには賛美し喜びに満ちた新しい直美がありました。

私をイエス・キリストに導いてくださったもう一人の方は、薫姉です。薫姉とも前の職場でお世話になっていたのですが、薫姉のクリスチャンになる前と後の素晴らしい変化を目の当たりにしました。もともと優しく明るくてお姉様の存在でしたが、クリスチャンになってから、輪をかけて優しく、幸せで満たされ、神様の愛をいっぱい受けて輝いていました。それから(彼女達の信じている神様ってどんな方なのだろう?皆の様なならな。)と思うようになりました。その頃から薫姉はよく神様のことを家に来てお

話してくれました。そのお話はおとぎ話のようにほんやりしたものでした。また何度か初心者クラスに誘われていたのですが、いつも拒絶反応を表していました。が、不思議なことが去年の3月27日に起こったのです。

この日、「聖書の勉強を始めたらいいのね」と薫姉に言われたとき、当時5ヶ月だった我が子のカーソンが思いつき笑って、喃語をいっぱい話し始めました。まるで私に勉強して、と言っているかのように思えました。その時、自分でも信じられなかったのですが、自然とこのクラスを受けてみたいと思いました。この時、神様はカーソンも用いて私の心を動かしたのでした。それからカーソンを連れての初心者クラスが始まりました。毎週勉強の日が来るのが楽しみで、もっと知りたいという気持ちでいっぱいでした。ただ、主イエス・キリストが私の救い主で、神様である、という確信がありませんでした。そのことを先生に話した時、「クリスチャンになるのは確信や納得をしてなるものじゃなくて、信じるか信じないかでなる。確信はクリスチャンになってからいろいろな経験を通してある」とおっしゃりとても心が晴れやかになったのを覚えていました。

5月8日、この日私にとって運命の日となりました。『十字架の意味』を初心者クラスで教えてもらい、主イエス・キリストを神様とすると受け入れ、信じました。完全な愛と義の神様が、子なる神を十字架に架け、私の罪が許されたのだ、ということを知り、ただただひれ伏す思いでした。

私は今、子育て真っ只中にあります。神様は私の最適な時にクリスチャンにさせて下さいました。子供を育てるというのは素晴らしくやりがいのあることの反面、大変重大な責任のある事です。この大切な時期を乗り越えるために今クリスチャンになったのだ、と思います。主イエス・キリストがいつも共にいて下さると思うとこれから先、もう怖いものはありません。

この場を借りて、私をクリスチャンに導いて下さった鶴田先生ご夫妻、薫姉、ケイ姉、直美、そして多くの祈って下さった兄弟・姉妹に感謝します。また聖霊様の働きに感謝します。

## 案内・ニュース

- ・ かよ子 Newhouse 姉の娘さんに赤ちゃんが生まれました(7月19日)。赤ちゃんの名前はエバ・真理子ちゃんです。おめでとう! 主の祝福をお祈りします。
- ・ 8月8日(水)5:30PM からマリアーノ氏によるハーブのミニコンサートが持たれます。
- ・ 8月13日(月)は第二回ボーリング大会が開催されます。新しい方々を誘って交わりを深め、大いに楽しみましょう。
- ・ 8月19日(日)の礼拝後、以津子ハバード姉の喜寿をお祝いするパーティーが持たれます。いつまでもお元気で。
- ・ 新しい教会の場所を探しています。少なくとも2500~3000SQFT のスペースが必要です。どうぞ、この事のために皆さんが祈り、情報を集めて下さい。主の御用が私たちの不信仰のゆえに制限をされることのないよう、信仰をもって進みましょう。

## DREAMS COME TRUE

- ✦ 教会堂の建設
- ✦ 敬老ホームの設立
- ✦ 幼稚園の設立